

～開校記念日号～

## 特集 読書の秋「私の一冊」



Contents

開校記念日によせて…2 / 特集 読書の秋「私の一冊」…4・5 / 駒大生を調査 あなたはどっち派!?…6  
ユニバーシアード・ハーフマラソン片西景選手が大学生世界一…11 / 第11回学長学業奨励賞受賞者発表…12  
KOMAZAWA NEWS…14・15 / 活躍する卒業生 大宮アルディージャ クラブアンバサダー 塚本泰史さん…16

# 開校記念日によせて

## 伝統は日常の中に

## 原点と初心に立ち返る日



総長  
池田 魯參

10月15日は駒澤大学の開校記念日です。校歌に銘記する旃檀林の学寮が開設されたのは今から426年も前のことですが、学生が増え手狭になったことから、1882（明治15）年10月15日、駒込吉祥寺から麻布北日ヶ窪（現在六本木ヒルズ辺）に移転し、校名を「曹洞宗大学林専門本校」と改めたこの日を本学の開校記念日と定め、今年で135年目を迎えることとなります。ちなみ

に、駒沢の現在地に移転したのは1913（大正2）年で、こちらは104年目となります。開校130周年を記念して始まった記念棟（種月館）の建設工事は第1期工事がいよいよ本年いっぱいまで完成し、目の前に壮麗な新校舎が出現することになります。今から楽しみですね。

永平寺のご開山道元禪師は、『正法眼藏有時』の巻で、「時すでにこれ有なり、有はみな時なり」と明言されます。時というのは生きている事実（有）のことだ。生きている事実を時というのに他ならない。だから「時は飛去するとのみ解会すべからず」、時は流れるものとばかり考えてはいけない（時は流れないのだ）といわれます。

開校135年という歳月を、単に過ぎ去った時間として回想するだけではすまないこととなります。この年月の間に、本学で学び、本学で教え、本学の運営に汗を流し、本学の経営に努力した、数知れぬ先人たちがいたことを忘れるわけにはいきません。

426年間、135年間にわたり、営々と築き上げられた光輝ある本学の伝統に想いを致し、開校記念日に当って、改めて私たちの一日一日をより好き日とすべく、日日新たに精進を続けていくことを誓わずにはおれないのです。



学長  
長谷部 八朗

10月15日は、駒澤大学の開校記念日である。1882年のこの日、麻布北日ヶ窪（現在の六本木ヒルズ・テレビ朝日の地）に校舎が新築され、校名に「曹洞宗大学林専門本校」の名称が冠されたことに淵源している。爾来、今年で135年目を迎えた。

駒沢キャンパスに建築中の開校130周年記念棟（種月館）も、竣工を間近に控え、光輝を放っている。それは、先人たちが連綿と築いてきた本学の歴史の輝きでもあろう。駒澤大学を支えてきた人々の母校愛の結晶にほかならない。

「温故知新」という言葉がある。原点を確認し、未来を見据える意である。これを承ければ、開校記念日は、先人たちの寄せてきた情熱に思いを馳せ、将来のさらなる発展のために、教職員、学生、同窓会、教育後援会、駒澤会ほか、駒澤大学を支援して下さる、あらゆる関係者の結束を再確認する大切な日であることが、おのずと理解できよう。

少子高齢化社会の急激な進展、不可避的なグローバル化、世界協調の時代における自国本位主義など、多くの課題が今日の社会を取り巻いている。そのような時代だからこそ、私は、仏教と曹洞宗立宗の精神である「行学一如」「信誠敬愛」という駒澤マインドを身につけることの意味を強調したい。そして、それを基本としつつ、各学部等で学ぶ専門的なナレッジ、スキル、リテラシー、コンピテンシーを、大いに役立たせることのできる学生を育成するための「熱意」「エネルギー」の充実をはかりたい。

開校記念日は、その意味で、新たなスタートを重ねて確認し、全学的な共同体意識をさらに強化すべき節目の日といえよう。文頭に、「原点と初心に立ち返る日」と題した所以である。

## 一松語

先日、縁あって目黒の五百羅漢寺に赴き、本殿の「拈華微笑」の場面を参拝した折、ふと西洋の近代文学作品の一節を思い出した——「かんじんなことは、目に見えないんだよ」。サン・テグジュペリ『星の王子さま』で知られる名言である。一方、造像にあまり類例のない「拈華微笑」は、經典の一節に基づいている◆あるとき釈尊が蓮華を指で拈った。多くの弟子たちはそれが何を意味するか理解することができな

かったが、迦葉<sup>かしよう</sup>だけが微笑みを返したという。釈尊から弟子への「以心伝心」を表現するとともに、悟りの極意、不可視のものを伝えることを意味する説話である。かんじんなことは目に見えないし、言葉でも語られないということか◆昨今、研究と解明が進んでいる宇宙の暗黒物質にも思い巡らす。宇宙空間に大量に存在し、通常物質の5倍以上存在するという暗黒物質は、分布状況などは明らかにされつつあるが、「実体」の観測に成功した例はない◆詩人金子みすゞも歌い上げて

いる「見えぬけれどもあるんだよ、見えぬものでもあるんだよ。」◆今、地球上に存在しているもので、滅びぬものはひとつもない。人である私たちも何も持たないで生まれ、何も持つことが許されずに死んでいく。ということは、次元が変われば目に見える物質が消え、そこには私たちが目に見えない（と思っていた）ものだけがあふれる世界が広がっているのかもしれない。そしてそれこそが真の実体、「真実」というものなのかもしれない。

# 名誉教授のプロフィール

名誉教授の称号は、学校教育法第106条、駒澤大学学則第51条及び駒澤大学法科大学院学則第14条第4項に基づき、教育または学術上、特に功労のあった先生に授与されます。今年度は、7月6日(木)に授与式が行われました。



仏教学部  
永井 政之 先生

永井先生は本学のご出身で、1984年より33年間の長きにわたって仏教学部に奉職されました。中国禅宗史を研究領域としつつ、文化史の視座から民衆と禅宗教団の関係をも精力的に解明し、他の追随を許さぬ研究成果を挙げられてきた。一方、禅学科主任、大学院人文第一研究科仏教学専攻委員長、仏教学部長(法人理事・評議員)、禅文化歴史博物館長などの要職も歴任し、大学の法人運営にもご尽力されました。(仏教学部教授 程正)



文学部  
高野 正夫 先生

高野先生は本学のご出身で、1978年に着任以来、学科主任、専攻主任などの要職を歴任し、39年間勤務されました。ロマン派詩人からラーキンのような現代詩人に至るまで、こよなく英詩と親しみ、多くの立派な研究業績を残しておられます。気さくで温厚なお人柄で知られ、同僚だけでなく、学生からも慕われ、先達として一つの道筋をお示しになりました。

(文学部教授 逢見 明久)



文学部  
高木 正博 先生

高木正博先生は、1973年に助手としてご着任以来、44年の長きにわたり本学に奉職されました。その間文学部長、応用地理研究所長の要職を歴任されました。研究面では多摩川流域やフランスにおける水環境、水利用、水害に関する多くの業績を残されています。明朗快活な先生のお人柄に引かれる学生も多く、若き日の私もその一人であり、講義でご自身の研究成果を熱く語る先生の姿を今でもよく覚えています。(文学部准教授 鈴木 秀和)



文学部  
小野 浩一 先生

小野浩一先生は1979年に本学に着任されて以来、大学および心理学研究室の発展に寄与されました。ご研究につきましては行動分析学の世界の権威として知られ、特に選択行動や迷信行動など不確か場面における人間の行動特徴を実験的に明らかにされました。また、在職中は皆に慕われ、頼られる存在でした。これも先生の時折ジョークを交えた明るく朗らかなお人柄のなせる業だと思います。(文学部助手 久保 尚也)



経済学部  
有井 行夫 先生

有井先生は、1976年に着任され、40年にわたり大学と学部の発展に多大な貢献をしてこられました。大学の民主化にも献身的に取り組まれてきました。また、マルクス経済学の展開可能性を一貫して追求し、その研究成果は高い評価を獲得してきました。もう少しマルクス経済学の展開可能性を学びたかったという思いです。時代は有井先生を求めていることを痛感しています。益々のご活躍を祈念しています。(経済学部教授 百田 義治)



経済学部  
山縣 弘志 先生

山縣弘志先生は、1975年に本学経済学部にご着任され、長くロシア・東欧経済論を担当されました。学部長在任中は教授会にて幅広い意見を巧みにまとめる名司会者でした。2017年初に大著『ロシア製鉄業史論』を上梓され、最終講義(同年1月6日)ではそのエキスを柔和な語り口で説いていただきました。また、カメラをこよなく愛し、私たちにとって貴重な記録写真を残してくださいました。(経済学部教授 小林 正人)



医療健康科学部  
瀬尾 育式 先生

瀬尾育式先生は2007年に着任され、2017年までの10年間に、医療健康科学部長4年、法人理事2年の要職を歴任し、本学の発展に貢献されました。また、ご専門の超音波分野の研究においては、2004年に文部科学大臣賞、2005年に紫綬褒章を受章されております。現在も本学の「禅ブランディング事業」、「医療健康科学研究所」の活動に参画され、ご活躍されています。(医療健康科学部教授 志村 一男)



GMS 学部  
モエ,リチャード, A. 先生

モエ先生は1985年、駒澤大学短期大学英文科にご着任され、40年以上の長きにわたり駒澤大学の英語教育に力を注がれました。基礎の英会話から同時通訳まで厳しい発音指導を徹底されました。気っ風のよい江戸っ気質でユーモアたっぷりのお人柄は周囲をいつも明るくしてくださいました。2006年本学部開設に際して英語カリキュラムの骨子作成にご尽力くださいました。変わらぬご活躍を祈念いたします。(GMS学部教授 各務 洋子)



GMS 学部  
福家 秀紀 先生

福家秀紀先生は2007年グローバル・メディア・スタディーズ学部にご着任以来、10年に亘り情報メディア産業分野の教育、研究にご尽力されました。2010年度より本学部の第2代学部長、2013年度よりグローバルメディア研究科の初代研究科委員長を歴任され、本学部だけでなくグローバル・メディア研究科の確立にご尽力いただきました。今後も国内外での変わらぬご活躍を祈念いたします。(GMS学部教授 各務 洋子)



総合教育研究部  
佐藤 憲昭 先生

佐藤憲昭先生は1976年の着任以来40年以上にわたり主に宗教学分野の科目をご担当され、学部から大学院の指導まで親身な教育指導で広く学生から慕われてこられました。先生はシャーマニズム研究の分野で日本を代表する研究者として夙に有名です。ご退職後も駒澤大学の宗教学の研究を指導いただくお立場は変わらず、これまでどおり研究会を支える大黒柱としてご活躍を願うところです。(総合教育研究部教授 小川 順敬)



総合教育研究部  
矢島 直子 先生

矢島直子先生は1979年4月に当時の外国語部英語科に着任されました。先生の研究対象はシェイクスピアでしたが、近年イギリス現代劇に興味を持たれ、毎年のように夏休みには観劇のため英国へ行かれ、一人の観客の視点から現代演劇研究をなされていました。小柄な先生でしたが、いつも大きな黒いリュックを背負われていましたので、「今日も山登りですか?」とお聞きしたものでした。(総合教育研究部教授 林 明人)



総合教育研究部  
村松 誠 先生

村松先生は、1975年に本学の助手として着任され、1994年に保健体育部教授(後の総合教育研究部スポーツ・健康科学部門教授)に昇格され、41年の永きにわたり保健体育教育に奉職されました。その間、保健管理センター所長を2期にわたって務め、健康の大切さを学生に指導されました。また、ハンドボール部の監督、部長として学生を指導されました。先生のご健康とご活躍を祈念いたします。(総合教育研究部准教授 下谷内 勝利)



あなたのお気に入りの一冊を教えてください

# 私の一冊



「読書の秋」に駒大生に読んでほしいオススメの一冊を在学生・教職員に聞きました。

## Q1

その作品を選んだ理由は？

## Q2

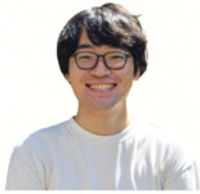
心に残る場面・表現は？

## Q3

この本に「帯」をつけるなら？

## Q4

次に読みたい作品は？



Title



### 茄子の輝き

文学部 国文学科3年  
菅 海太郎

滝口 悠生 | 新潮社

**A1** 作中に漂う、時間が経つにつれておぼろげになる記憶を思い出そうとしても思い出せない、その感傷的な気が秋の夜にびったり。

**A2** 会社のお茶汲み当番を考える話だけで一編を成立させる徹底したディテールへのこだわりには脱帽。

**A3** 茄子のさっぱりとした口当たりのような読後感。無駄な記憶なんて何ひとつない。

**A4** 「燃焼のための習作」(堀江敏幸/講談社)



Title



### 僕らはまだ、世界を1ミリも知らない

経済学部 現代応用経済学科2年  
金剛寺 莉菜

太田 英基 | 幻冬舎文庫

**A1** 日本や世界について考えさせられた。色々などころに行ってみたい、自分の目で見て世界を感じたいと思わせてくれたから。

**A2** 「世界一周の旅は(中略)頭の中にあつた『日本地図』を『世界地図』に色鮮やかに塗り替えてくれた」

**A3** この本を読む前に思い浮かべる「地図」は日本地図だった

**A4** たかのてるこ氏の作品



Title



### 人形の家

法学部 法律学科3年  
宮内 紗衣

イプセン(原 千代海 訳) | 岩波文庫

**A1** 読みやすさとは対照的に、主人公や周囲の人々の変化と「性・人権」について印象的な展開が心に残る。

**A2** 主人公の夫の「お前は何よりもまず妻で、母親だ」という言葉。昔は「女性は家庭に専念するもの」という考えが通っていたと感じ、腹立たしさと諦めの感情を抱いたのを覚えている。

**A3** 「あたしは、あなたの人形妻だったのよ、実家で、パパの人形っ子だったように」

**A4** 「雲は湧き、光あふれて」(須賀しのぶ/集英社オレンジ文庫)



Title



### ヨハネスブルグの天使たち

文学部 国文学科3年  
吉田 幸起

宮内 悠介 | 早川書房

**A1** SFとしてのモチーフが優れており、どこか無情さを感じさせる切なさに、世界について考えさせられるから。

**A2** 円筒形のビルで落下を繰り返すロボットと、少年と少女がコンタクトをとろうとする場面。

**A3** 今、この時代に読むべき小説

**A4** 「日本SF傑作選1 筒井康隆 マグロマル/トラブル」(早川書房)



Title

## 正しいパンツの たたみ方



総合教育研究部 スポーツ・健康科学部門  
准教授 末次 美樹

南野 忠晴

岩波書店

**A1** タイトルに興味を持って読んでみた一冊。この本には、自立する事や人との関わり方など、日常生活を上手に生き抜くヒントがたくさん紹介されています。人生が少しだけ楽になる本、お勧めです。

**A2** 「変化こそ人間の本質。人生に失敗などというものはなく、全てが変化の中の一断面。大切なことは、いつでもものごとを前向きに考えられるかどうか」

**A3** パンツのたたみ方＝愛情!? 現在を生き抜く人間力を教えてくれる一冊!!!

**A4** 「下山事件 最後の証言」(柴田哲孝 / 祥伝社)



Title

## 新興宗教 オモイデ教



文学部 地理学科 地域文化研究専攻3年  
宮崎 圭輔

大槻 ケンヂ

角川文庫

**A1** 僕はアンダラな物が大好きだ! 流行やメジャーなものなんか体が受け付けない...というそのあなたにおススメです。

**A2** 「僕はパツとしない奴だから、友達は居ない。だから休み時間は人気のない旧校舎の水飲み場で過ごす」これが何とも痺れる一文である。

**A3** 神の力か、悪魔の力か 戦う 戦う 命を懸けて

**A4** 「荒神」(宮部みゆき / 朝日新聞出版)



Title

## ネガティブ ハッピー・ チェーンソーエッチ



文学部 歴史学科 外国史学専攻2年  
石野 拓海

滝本 竜彦

角川文庫

**A1** 子どもの頃一度読んだが、主人公と同じ高校2年生の時に読み返してみると、自分の考えと主人公の考えが酷似しており衝撃を受けたため。

**A2** 冒頭部分、雪の積もる寒い夜の道端に謎の少女が一人座っているシーン。

**A3** 「この世は不条理だ」ハッピーとは何か。まるで人生に問いかけるような本。

**A4** 「NHKによこそ」(滝本竜彦 / 角川文庫)



Title

## デザインが イノベーション を伝える



経営学部 経営学科1年  
永里 玲子

鷺田 祐一

有斐閣

**A1** 日本のビジネスの現場ではデザインと企業経営が分断されてしまっていることを知るきっかけになったから。

**A2** 世界的家具企業IKEAは、最初に目標販売価格を設定し、商品を開発することに驚きました。

**A3** 製品開発において経営者は「コスト」と「アイデア」どちらを優先すべきなのか。

**A4** 「メ切本」(左右社)



Title

## 野火



文学部 国文学科2年  
田中 敬人

大岡 昇平

新潮文庫

**A1** 絶望的な戦況で本隊を追放された田村一等兵の極限的心理状態、剥き出しにされる人々たちの本性に、心に迫るものがあると思うから。

**A2** 夜の浜辺でフィリピン人を殺害する場面は衝撃的だった。異常な心理状態での必要性のない殺人場面である。

**A3** 極度の飢えの中、あなたは人肉を食べるのか? 追放された日本兵の、絶望的な彷徨の物語。

**A4** 「美しい星」(三島由紀夫 / 新潮文庫)



Title

## アースダイバー



財務部 係長  
米山 博久

中沢 新一

講談社

**A1** 読後、見慣れた東京の景色が一変する。その驚きを学生諸氏と共有したい。

**A2** “現代の東京は地形の変化の中に霊的な力の働きを敏感に察知していた縄文人の思考から、いまだに直接的な影響を受け続けているのである”

**A3** 本書を持ち、街へ出よ!

**A4** 「お祓い日和 その作法と実践」(加門七海 / 文庫ダ・ヴィンチ)



## 自然観察実習

文学部地理学科地域環境研究専攻2年 高橋 樹

皆さん、理科の実験は好きですか？小・中学校での理科の実験は、文系の人でも楽しんでいたのではないのでしょうか。「自然観察実習」と聞くと、堅そうな印象がありますが、あの頃楽しみにしていた実験をたくさん行うことができる授業なのです。植物、地形、地質、環境、天体などの観察やデータ処理の方法を実験を通して学び、自然の見方、接し方や自然科学的な考え方を身につけることができます。

この授業は、総合教育研究部自然科学部門の各分野の専門の先生たちがリレー形式で行います。清水善和先生の授業ではフィールドワークや植物、図鑑について学びました。特に面白かった作業は、15種類の葉っぱの検索表を自分なりに作るという作業です。検索表とは、ある生物を特定するために用いる表です。針葉樹と広葉樹の違いは一目で分

かりますが、広葉樹の中で分けることが難しいのです。葉全体のおおまかな形、葉の縁のギザギザの有無、葉脈の形状など様々な視点から分類させて誰が見ても特定できるような検索表を作るのです。

また、インフルエンザの検査の際に、クロマトグラフィーという方法が用いられていることをご存知ですか？簡単に言えば、混合物を分離させる方法の一つです。持丸真里先生が担当した分離の実験では、重さの違いや静電気に反応するかなど目的物の性質を利用するという分離における基本の重要性を知りました。この基本を元にして、クロマトグラフィーは行われているのです。

自然科学的な考え方を身につければ自然を見る目が変わり、興味の幅が広がるかもしれません。

イマドキの駒大生を調査！

### あなたはどっち派!?

あなたは○○派？

タイムマシーンがあったら？

好きなのは？

インドア派  
43%

アウトドア派  
57%

映画レンタルが  
好き！

文学部英米文学科3年  
三宅 里佳

家でじっと  
してられない！

文学部歴史学科日本史学専攻3年  
掃詰 開士

ディズニー  
56%

イベントが  
多いから！

経営学部経営学科2年  
矢嶋 花帆

ジブリ  
44%

子どもの時から  
よく見ていた！

経営学部市場戦略学科4年  
上岡 拓海

未来に行く  
44%

100年後の  
世界はどうなって  
いるのか知りたい！

経済学部商学科2年  
大橋 昂暁

過去に行く  
56%

未来は楽しみに  
していたい！

経営学部経営学科4年  
坪 桃花

# 国際交流体験レポート

本学では10の国・地域の  
16大学と協定を結んでいます。

## 東国大学校

### 交換留学

文学部地理学科地域環境研究専攻4年

土信田 建佑



「日本で流れている韓国のイメージは本当にそうなのか」それが留学のきっかけでした。

K-POP や韓流ドラマなどが好きという人もいますが、私は様々なニュースが流れる中、実際にこの目で見て確かめたい、そんな思いから韓国の大学へ留学しました。

留学当初は慣れないことばかりでした。韓国人と同じように授業を受けるのも、人一倍苦勞しますし、何をやるにしても、人の助けなしでは厳しかったです。そんな私の留学生在活が楽しくかけがえのないものになったのは、現地で出会った韓国人の友だちのおかげです。学校にいるときはいつも一緒にいて、授業が終わればサムギョブサルを食べて遊んだり、誰かが失恋や悲しいことがあれば朝まで過ごしたり、喜びも悲しみも一緒に分かち合う。日本にはない、「分け合う文化」。他人だけど、家族のような距離感。日本人からしたら、厚かましく感じるかもしれませんが、日本人よりも人が温かいと感じました。分け合う文化のおかげで、他国の留学生、店のおばちゃんなど様々な人と繋がれたと思います。

日本に帰ってきた今でも、留学で出会った友だちや先生と連絡をとっています。これからは留学で培った経験を活かし、日本と韓国、そして世界をつなげる架け橋になれるよう頑張っていきたいです。



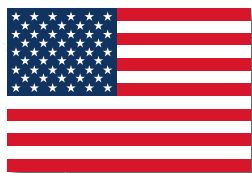
左から2人目が土信田さん

## カリフォルニア大学アーバイン校

### 短期語学セミナー

経済学部経済学科3年

高橋 優太



中学生の時から持っていた留学したいという夢をやっと実現することができました。

夏休み1ヶ月間のカリフォルニア滞在は、毎日が新鮮で、新しい事を沢山吸収することができ、とても充実した日々でした。もちろん、言語の壁にぶつかることはありましたが、それを乗り越えて、英語力を向上させることが出来ました。また、ホストファミリーは、私を家族の一員として温かく迎えてくれました。カリフォルニア大学には様々な国から来た学生がいて、その人たちと一緒に授業を受けました。アメリカは、人々の個性を尊重し、「普通」という固定観念にとらわれず、やりたい事をやるという自由な国なので、様々なカルチャーショックを受けました。アメリカに行って視野が広がり、世界のレベルが高いということを知ることができました。

次に、ASL（アメリカ手話言語法）を使える人と友だちになったり、和服で過ごしたり、現地の友人を作ったり、ユニバーサルスタジオハリウッド、メジャーリーグ観戦など、やりたい事を全て成し遂げる事ができ、充実した1ヶ月間でした。

そしてこの留学で、勇気、英語力、コミュニケーション力などを身につけられました。挑戦しないです後悔と、挑戦してする後悔とはは差が大きいです。だから在学中に、留学してみませんか！人生はアドベンチャーです！



中央が高橋さん

**アメリカ**  
アーカンソー工芸大学（アーカンソー州）  
カリフォルニア大学アーバイン校（カリフォルニア州）  
カリフォルニア州立大学ロサンゼルス校（カリフォルニア州）

**カナダ**  
プリティッシュ・コロンビア大学（プリティッシュ・コロンビア州）

**イギリス**  
エクセター大学（デボン州）

**フランス**  
エクス・マルセイユ大学（プロヴァンス地方）

**スペイン**  
アルカラ大学（マドリッド州）  
アルカラ大学シスネロス校（マドリッド州）

**ドイツ**  
ハンブルク大学アジア・アフリカ研究所（ハンブルク市）

**オーストラリア**  
クィーンズランド大学（クィーンズランド州）  
グリフィス大学（クィーンズランド州）

**中国**  
北京大学（北京市）  
華東師範大学（上海市）

**韓国**  
東国大学校（ソウル市）

**台湾**  
淡江大学（新北市）  
義守大学（高雄市）



## 国際センターより お知らせ

**クィーンズランド大学・来日プログラム**



### ボランティア学生の募集

本学協定校のオーストラリア・クィーンズランド大学の学生15人が日本語・日本文化を学ぶため、11月24日（金）～12月17日（日）の間、駒澤大学にて研修を行います。研修期間中、留学生の学習・生活を支援し、彼らと交流を持ってみませんか？興味のある学生はぜひ募集説明会へご参加ください。英語力は特に必要ありません。

#### ▼ 募集説明会

日時	10月18日（水） 12時15分～12時50分
場所	1号館203教場



※詳細については国際センター事務室にお問い合わせください。

TEL(03)3702-9732

仏教学部村松ゼミは仏像や仏画、禅画などの仏教美術を研究するゼミで、「自ら考えること」と「実際に実物を観ること」を大切にしています。3年生10人、4年生5人が所属している他、院生や宮大工の方、そして「欽ちゃん」こと萩本欽一さんも参加してくださっています。そのなかで幅広く意見を聞くことができ、視野が広がる個性豊かなゼミとなっています。

「自ら考えること」では、一つの美術品から様々なイメージを浮かべ、自分が作者の立場となって考え、ゼミ内で意見交換をします。前期の授業では、仙厓の描いた禅画をどうしてそのように描いたのか、法隆寺金堂釈迦三尊像光背の銘文の読解を主に行いました。光背の銘文を理解することで、その仏像がどういう経緯で造られたのか、また矛盾点も見つかり新たな面白さが膨らみます。改めて一つの美術品を理解するためには文献読解が必要であると実感しました。

「実際に実物を観ること」では、ゼミ以外の日程や長期休暇を利用して、東京国立博物館や鎌倉を訪れたり、春休みには合宿を行ったりします。実際に鑑賞することで国宝や重要文化財の美術品が身近で観られますし、例え



ば仏像でいうと、写真では正面しか見られないものも横や後ろから観ること、また指先までよく観ることによって細かい表現や、時代の重みを感じられます。またその仏像の雰囲気や表情を感じ取れることも楽しさの一つです。

今まで私も何気なく通り過ぎていた表現もゼミを通してじっくり観て考えるようになりました。皆さんも博物館に行った際には、一つの美術品をじっくり観てみるのも面白いと思います。

日本全国、  
世界からも学生が集う駒大。  
故郷のいろんなことを  
アピールしていただきます。

## お国自慢

第4回



文学部 歴史学科  
外国史学専攻 3年  
**遊佐 知衣**  
出身高校：  
旭川南高等学校

今回のお国自慢

## 北海道



**あさっぴー**  
旭川市シンボルキャラクター

## 〈北海道〉ってこんなところ

私の出身地である北海道は、とにかく自然豊かで人の温かみのある土地です。中央部には十勝岳が連なり、麓の牧場でのおびのび育った牛から採れる牛乳は新鮮で、その牛乳から作られるソフトクリームは絶品です！北側には大雪山系の山々が連なっており、とにかく空気はきれいで水がおいしい！麓に位置する東川

町は水道代が無料なんです！また、日本海、太平洋、オホーツク海にも面しているため、とにかくたくさんの海産物が採れます。カニ、エビ、ホタテ…などどれも新鮮でおいしく安いです。函館は五稜郭があったり、歴史好きな人には特におすすめです。都市の札幌も楽しいですが、旭川や富良野、美瑛や小樽など地方都市に意外と穴場が多く、おすすめです！

### 遊佐さんのおすすめ

食べ物

#### 『LeTAOのチーズケーキ』

ミルク感があり濃厚で美味しいです。オンラインショップからお取り寄せもできるので、ぜひ食べてみてください。



写真提供：小樽洋菓子舗ルタオ

観光地

#### 『青い池』

美瑛町白金にある、穴場観光地。不思議と水の色が真っ青で、枯れたカラマツが幻想的です。



写真提供：びえい白金温泉観光組合

名物

#### トマトジュース『オオカミの桃』

地元の採れたてのトマト100%ジュースです。北海道物産展等で販売されているのでぜひ飲んでみてください。



写真提供：株産橋町農業振興公社

### これぞ北海道丼!

#### 【○○ささる】

またまた壁に寄ったところに電気のボタンがあって、電気が消えてしまったとき、自分は押すつもりは全くなかったけれど、自分が壁に寄ったことによって電気が消えてしまったら、ごめん、押ささちゃった!と言います。



ドイツ南部のバイエルン州にあるヴェルツブルクは、古い歴史を持つ小さな町で、ロマンティック街道の北側の出発点に当たる。私は、その町にあるユリウス・マクシミリアン大学で、1年間を過ごした。第1回のノーベル賞受賞者であるレントゲンが在籍していたことで知られ、その後も多くのノーベル賞受賞者を輩出している大学だ。研究に打ち込むにはもってこいの、静かで落ち着いた町なのだ。学問の町である一方、ヴェルツブルクは観光の町でもある。見所の1つは、世界遺産に認定されたレジデンツ(大司教館)だ。1700年代の前半に建築された、ヨーロッパでも屈指の宮殿として知られる。ただし、現在のレジデンツの大部分は、第二次世界大戦後に建て直されたものだ。町全体が戦火に焼かれ、瓦礫と化した。しかし、レジデンツの階段の間と呼ばれる部分は、極めて頑丈に建てられており、そのままの形で残った。そこ

には、天井にまで描かれた美しいフレスコ画が当時の姿のまま広がっている。もう1つの見所のマリエンベルク要塞は、レジデンツ建設以前に使われていた司教館だ。聖人たちの像が並ぶアルテメイン橋から、小高い丘の上に建つ様子が見える。その要塞の下の斜面にはブドウ畑がある。ブドウ畑はその他にも、盆地の町をぐるりと囲むように広がっている。ヴェルツブルクは、フランケン・ワインの名産地でもある。白ワインが美味しい。辛口で、ヴァルスト(ソーセージ)にもよく合う。ヴェルツブルクは美味しい町でもある。夏に橋の上で冷えたワインを飲みつつ考え事をしたのは、楽しい経験であった。



## 仏教行事について

### 太祖降誕会

仏教学部講師 徳野 崇行

曹洞宗では「一仏両祖」を信仰の中心としています。「一仏」とは本尊である釈迦牟尼仏であり、「両祖」とは「高祖」と尊称される曹洞宗を開いた道元禪師、「太祖」と尊称される曹洞宗を弘めた瑩山禪師を意味します。「太祖降誕会」はこの瑩山禪師の生誕を祝う法要であり、毎年11月21日に営まれています。

文永5年(1264)に生を受けた瑩山禪師は、永平寺三世徹通義介禪師の法を嗣ぎ、加賀大乘寺の二世となり、その後文保元年(1317)頃に永光寺を、元亨元年(1321)に總持寺を開きました。

瑩山禪師は禅院の行法を定めた『能州洞谷山永光禪寺行法次第』、一般に『瑩山清規』と呼ばれる行法書を記しました。本書には「亡者回向」と題した「浄極まり光通達し、寂照にして虚空を含む。却来して世間を觀ずれば猶お夢中の事の如し」という歎霊句に始まる回向文が載録されています。これは曹洞宗の現行の『曹洞宗行持軌範』という行法書にも「祠堂檀那諷經(各寺開基正忌回向)」という形で掲載されています。瑩山禪師が記した行法が700年の時代を通じて曹洞禅僧たちに連綿と受け継がれ、現代においても日本の用を形作っていることを示しています。



### 成道会

総合教育研究部准教授 別所 裕介

日本を含む東アジアの仏教社会では、毎年12月8日に、釈尊が悟りを得た日を記念して「成道会」が執り行われる。釈尊の誕生を祝う「降誕会」(4月8日)、入滅を悼む「涅槃会」(2月15日)と併せて、釈尊にちなむ三重大行事のひとつとなっている。

他方、東南アジアの上座部仏教社会や、チベット・モンゴルなどのチベット仏教社会では、釈迦の生誕・成道・入滅は奇しくも全て同じ日の出来事と考えられている。チベットでは4月15日その日であり、暦の上で4月は「サカダワ」と呼ばれ、普段とは異なる特別な功德を積む期間となる。チベット各地の村ではこの期間、多くの村人が村のお堂に集まり、日の出から日没まで一心に各種の経文を唱和する。その間は食事が一日一回以下に制限され、肉や臭物の摂取を避け、村人同士で日常の会話をすることも禁じられる。半月間、断続的にこうした齋戒の行事を続けて身を清めたのち、最終日の15日には、お堂の書庫から大蔵経を取り出し、村人めいめいが背中に経本を背負って村の外周をめぐり、畑や牧草地など、自分たちが生活の糧を得る場所を加持して廻るのである。

こうした釈尊にまつわる行事が、村全体が心を一つにしてまとまることに大いに関係しているように思われる。



# 平成29年度科学研究費助成事業

科学研究費助成事業（科研費）は、人文・社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる研究を格段に発展させることを目的とする文部科学省・日本学術振興会の研究費であり、専門分野の近い研究者による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対して助成を行うものです。

平成29年度駒澤大学では、今年度からの新規課題14件、昨年度以前からの継続課題36件、合わせて50件の研究課題が採択されています。

## ●採択者一覧

※GMS学部＝グローバル・メディア・スタディーズ学部

研究種目	継続/新規	所属	職名	氏名	研究課題名
基盤研究(B)	継続	文学部	教授	佐々木 真	戦争叙述のための博物館の可能性—歴史の方法の有効性について
	新規	文学部	教授	片岡 栄美	日本のディスタクシオンと社会構成意識—新しい文化資本と実践・意識の多元性
	継続	法学部	教授	中野 裕二	国内社会の紛争としての移民問題：フランスの市民統合モデルの変化に関する学際的研究
基盤研究(C)	継続	仏教学部	教授	村松 哲文	中国における涅槃像の変容に関する研究—敦煌・西安・四川の相關関係—
	継続	仏教学部	准教授	藤井 淳	親鸞理解の変遷についての総合的研究—江戸時代注釈と聖徳太子信仰の分析を中心として
	新規	仏教学部	講師	加納 和雄	ヒマラヤ地域における梵文写本の請来者および伝来経路の同定
	継続	文学部	教授	近衛 典子	上田秋成の俳諧研究のための資料整備と基礎的研究
	継続	文学部	教授	唐澤 一友	古英語格言詩 Maxims I, II に関する総合的研究
	継続	文学部	教授	酒井 清治	東国における初期仏教文化の導入と展開
	継続	文学部	教授	熊本 史雄	「近代史科学」構築のための基礎的研究—地方行政機関の公文書管理規程の収集と分析—
	継続	文学部	教授	山田 信行	グローバル化と反システム運動の動向—半周辺社会マレーシアを事例とする調査研究
	継続	文学部	教授	松信 ひろみ	世代間関係、ネットワークからみた中期から高年期への移行と夫婦関係に関する研究
	新規	文学部	教授	藤田 博康	クライアントのニーズと嗜好を尊重した臨床心理援助実践のあり方に関する総合的研究
	継続	経済学部	教授	長山 宗広	オープン・イノベーションとメイカース革命時代における製造業の日本の創業モデル
	継続	経済学部	准教授	井上 智洋	長期の貨幣政策とデフレ不況
	継続	経済学部	准教授	江口 允崇	ゼロ金利下での政府支出は有用か-DSGEモデルを用いた理論分析と日米の実証分析
	継続	経済学部	教授	渡邊 恵一	戦時・戦後復興期の民営鉄道—経営の多様性—
	新規	経済学部	教授	水野 祥子	イギリス帝国林学ネットワークの再編と知の生産—英領インドの脱植民地化を中心に—
	新規	経済学部	准教授	浅田 進史	19・20世紀世界経済統合のなかのドイツ植民地経済論
	継続	法学部	教授	原田 啓一郎	地域包括ケアシステムによる高齢者の住まいとケアの保障—地域居住の実現への法的研究
	継続	法学部	教授	内海 麻利	日仏の都市計画法制における一般利益と個別利益との関係に関する研究
	新規	文学部	教授	山崎 望	「ポスト代表制」時代の民主主義—新たなコンステレーションの模索
	継続	経営学部	教授	日野 健太	フォロー視点によるリーダーシップに対する期待・失望のメカニズムの解明
	継続	経営学部	教授	小本 恵照	フランチャイズに関する理論的・実証的研究：ビジネス・モデルからのアプローチ
	継続	GMS学部	准教授	服部 哲	生活に溶け込むタブレット・メディアの構想：障害者・高齢者に学ぶコミュニケーション
	継続	GMS学部	教授	川崎 賢一	転換期にあるシンガポールの文化制度：グローバル創造都市の新たな展開
	新規	GMS学部	准教授	高 媛	戦争と観光—戦前期「満洲」における戦跡ツーリズムに関する歴史的研究
	継続	総合教育研究部	准教授	別所 裕介	中国領有下の現代チベットにおける聖地表象と移動による信仰圏形成に関する包括的研究
	継続	総合教育研究部	教授	小川 順敬	久米島の明治大正期の郷土史および民俗資料の整理と研究
	新規	総合教育研究部	教授	小沢 誠	多重分岐曲面の3次元多様体への埋め込み（グラフ理論と3次元多様体論の融合）
	継続	総合教育研究部	准教授	三木 望	日本人学習者のライティングのメタ認知のメタ認知のメタ認知のメタ認知のメタ認知
	継続	総合教育研究部	教授	中村 哲子	アイルランド旅行記・小説・図像のインターアクション—1780年から1864年
	継続	総合教育研究部	准教授	上田 倫史	総合的な受容・産出語彙の測定テスト開発とその予測値に基づく学習支援システムの構築
継続	総合教育研究部	教授	西村 祐子	伝統的皮革業集団の多文化比較におけるディスコース分析の可能性	
継続	総合教育研究部	准教授	三好 俊介	パリ亡命ロシア文壇の言説空間に関する研究：「亡命文学」概念の生成現場として	
継続	総合教育研究部	教授	佐藤 普美子	京派詩人における倫理的なものへの美学的考察	
継続	総合教育研究部	教授	伊藤 茂樹	非行少年の社会復帰とその支援に関する教育学的研究	
継続	GMSラボラトリ	研究員	廣瀬 毅士	「第三の消費文化」パラダイムに基づいた中国消費社会の実証研究	
若手研究(B)	継続	文学部	講師	高山 大毅	江戸中期の「復古」思潮と中国観の変容に関する研究
	新規	文学部	准教授	倉田 容子	宮崎夢柳作品における女性表象と「自由」の概念との連関性についての研究
	新規	文学部	講師	平子 達也	出雲方言の地理的変異に関する研究
	継続	文学部	准教授	鈴木 重雄	耕作放棄地の景観動態に対する比較植生地理学的研究
	継続	文学部	准教授	高田 良太	コンスタンティノープルのヴェネツィア人に関する研究
	新規	文学部	講師	角道 亮介	西周都城の性格に関する考古学的研究
	継続	文学部	講師	濱田 国佑	日系南米人集住地域における外国人受け入れ意識の変容に関する実証的研究
新規	経済学部	准教授	松本 典子	現代資本主義社会における労働者協同組合の機能とガバナンス	
挑戦的萌芽研究	継続	文学部	教授	須山 聡	ネオ内発的発展論に基づく「限界集落」の生存戦略の構築—住民との協働による実践—
	継続	文学部	教授	坪井 健	偏見の低減のための教育—ヒューマンライブラリーの効果研究
研究成果公開促進費(学術図書)	新規	総合教育研究部	教授	萩原 義雄	西来寺本 仮名書き法華経 原色影印
奨励研究	新規	教務部	係長	鈴木 弘道	IR組織における大学への貢献度の規定要因に関する調査研究

## 科学研究費による学術研究 ～アイルランドをめぐる旅行記と小説の世界～

総合教育研究部教授 中村哲子

2015年度より科学研究費の助成を受けて、「アイルランド旅行記・小説・図像のインターアクション—1780年から1864年」と題する研究に取り組んでいる。アイルランドは近世初頭から長くイギリス支配を受けてきた地域である。この地がイギリス人の旅先として注目を集めるようになったのは、18世紀終わりのこと。大ブリテン島に住む人々にとって、旅先といえばフランスやイタリアが定番だったが、フランス革命の影響もあってこの時期多くの旅行者が西に向かう。1801年にアイルランドは正式にイギリスに併合され、19世紀後半に向けてこの自然豊かな未知の土地を自ら

の目で見ようとする旅行者が急増する。それにともない、挿絵入りの旅行記やガイドブックの刊行が続く。

こうした支配する者の視点で描かれたアイルランドのあり様は、地元の作家が小説に描き出すものとは趣が異なっている。作家たちはイギリスの読者を惹きつけるかのように、よく知られた観光名所を小説に登場させるものの、アイルランドの立場に立ったメッセージをフィクションに織り込んでいく。多角的、重層的に交錯する視線のポリティクスを解き明かしながら、アイルランドという地域の多義性について考察している。

## 政治の言葉を考える

法学部 教授

清滝 仁志



政治思想史は社会科学系学部において学生から最も縁遠い科目になっているのではないかと学会に行っても、よく知らない昔の思想家の著作について難解な話をしている発表が目立つ。私はシンクタンクの会員でもあるが、他の先生が経済政策の分析や労働問題の現状を語るのに対し、肩身が狭い。思想にこだわりをもつ共産党ですら自衛隊の賛否について明確な議論をしない現在、政治の場で思想を語る場は限られている。

英米仏独伊加の政治の専門家がいるのを幸いに、その機関誌で政治の言葉の国際比較を連載してみた。リベラル、保守など政治的立場を示す言葉が先進各国でどのように用いられているかを先生方に論じてもらい、比較をおこなうことで、日本における政治の言葉の特徴を明らかにした。

日本は他国に比べて曖昧で、感情的である。例えば、安全保障問題での現実主義的立場をとると保守派といわれるが、先進各国の主要政党のほとんどが保守派となってしまう。リベラルという言葉の用法は米に近いが、日本の場合、現在の政治体制の根本的変革をめざす極端な左派をも含み、政治的立場の区別がつかない。

深海魚のたぐいをマグロやタイにしてしまう寿司屋で、本当の魚の味がわからなくなるのと同様、言葉を曖昧に用いる国では、しっかりした政治の議論ができない。日本では政治の中身よりも清新なイメージが好まれる傾向が昔からあるが、新しければマグロやタイの正体にこだわらないのと似てなくもない。政治思想を学ぶことは、寿司のネタをきちんと判別するのに通じていると言えようか。

## 研究の魅力

グローバル・メディア・スタディーズ学部 助手

角谷 啓太



研究をしていると思い通りにいかず、大変な思いをすることは多々あるのだが、時に想像していなかった姿を見ることができ興味深く感じることもある。今回は私の研究(物理)で出てくる特殊な構造を持った面を例に挙げてお話しする。

私の研究対象の模型を解析していくと、段々茶畑や古代ローマの円形劇場のような階段状の面(階段面、と呼ぼう)が現れた。これは遠くから眺めると(階段状の凸凹はあるものの)滑らかな1枚の面のように見えた。段と段の間をつなぐ上り框も存在する。

しかし、これをよく解析してみると、上り框はなく各段が板のように宙に浮いていることがわかった。さらに、高さによってはその段の形状が板のような広がりを持たない1点に対応することもわかった。すなわち、階段面は板と点の組み合わせで構成されるスケスケの面だったのである。この構造は奇妙なものだが模型の特徴や予想されていた内容を体現しているものだったため、自然というのは上手い具合にできているものだと感心した。

さらに研究を進めると、特殊な条件下の特定の高さに対応する点が「複数」見つかった。これも発見当初は非常に困惑したが、階段面の成り立ちを解析することで「あるべくしてある」ということがわかり、改めて感心したものである。

想定と現実が異なった時は困惑するものだが、調べていくことで異なる理由も含めた現実の「よくできた」姿を見ることができる。このような場面に出会えることが、私にとっての研究の魅力である。

## 陸上競技部の片西景選手と工藤有生選手が ユニバーシアード競技大会・ハーフマラソンで 優勝・準優勝

陸上競技部の片西景選手(地理3)と工藤有生選手(政治4)が、8月27日(日)に台北市(チャイニーズタイペイ)で開催された「第29回ユニバーシアード競技大会」のハーフマラソン競技に日本代表として出場しました。

レース中の最高気温が35度を超える厳しいコンディションの中で、1周7kmのコースの3周目で工藤選手が後続を引き離しにかかる、多くの選手がついて行けなくなる展開に。その後、工藤選手、片西選手の一騎打ちとなり、ラストスパートで片西選手が競り勝ち、1時間06分09秒で優勝、工藤選手が1時間06分23秒で準優勝。片西選手は、駒大初の本種目金メダリストとなりました。また、3位には神奈川大学の鈴木健吾選手が入るなど、日本勢が表彰台を独占。団体でも日本チームが金メダルに輝きました。



左から工藤選手、大八木監督、片西選手

第11回学長学業奨励賞が222人に授与されました。

この賞は、前年度の各学科成績上位者若干名を学年ごとに表彰するものです。

<仏教学部>

【2年次生】鳥澤 芳峻・山口 拓真・黒田 哲央・柴田 宏祥・高橋 潤

<仏教学部禅学科>

【3年次生】西川 淳元・丹羽 道海  
【4年次生】青木 隆直・久澤 瑠璃果

<仏教学部仏教学科>

【3年次生】長澤 花桜里・栗木 亮学・塩田 空奎  
【4年次生】池本 絵里・秋本 光紹・海村 朱香

<文学部国文学科>

【2年次生】長田 麻友子・遠藤 万友・安藤 沙帆  
【3年次生】小松崎 彩・高木 結衣・木菱 克海  
【4年次生】高井 優里・武田 尚子・宮井 阜

<文学部英米文学科>

【2年次生】佐藤 由梨佳・大川 美樹・黒田 将弘  
【3年次生】山下 宣篤・鈴木 涼太・内藤 桃音  
【4年次生】金井 巧介・太田 麗紅・篠塚 結

<文学部地理学科地域文化研究専攻>

【2年次生】清水 俊行・横尾 空  
【3年次生】古川 雄太・中村 麻友  
【4年次生】吉岡 啓・大坪 亮太

<文学部地理学科地域環境研究専攻>

【2年次生】高野 聖義・加藤木 みさ  
【3年次生】亀山 史紀・鈴木 悠生  
【4年次生】玉城 遼・濱村 泰典

<文学部歴史学科日本史学専攻>

【2年次生】北原 拓実・柳瀬 翠華  
【3年次生】小川 遥香・天野 由香里  
【4年次生】瀬野尾 有香・亀潤 真由

<文学部歴史学科外国史学専攻>

【2年次生】志村 雅人・岩下 時郎  
【3年次生】大谷 健太・西村 佳純  
【4年次生】君田 李奈・飯倉 愛美

<文学部歴史学科考古学専攻>

【2年次生】宮崎 滲菜  
【3年次生】熊崎 夢  
【4年次生】鈴木 崇司

<文学部社会学科社会学専攻>

【2年次生】八百川 裕仁・田村 胡桃  
【3年次生】福富 実輝也・齊藤 南  
【4年次生】伊藤 有希・毛 佳偉

<文学部社会学科社会福祉学専攻>

【2年次生】長峯 由花・河野 和  
【3年次生】高見 佳乃子・前田 美沙  
【4年次生】吉田 華子・渡邊 萌

<文学部心理学科>

【2年次生】植田 朋恵・荒引 寛崇  
【3年次生】大谷 修・乾原 継桃  
【4年次生】乾原 胡桃・吉田 実里

<経済学部経済学科>

【2年次生】吉田 宏子・平林 実華・堅田 悠希・松田 留奈・佐藤 帆夏・平林 弘光・顔 輝

【3年次生】鄧 霞・KITTI PHATSARUT・三上 航・下村 剛司・三次 このか・松嶋 多寿久・長田 茉佑子

【4年次生】宮下 悠紀・松崎 由香・吉澤 星良・加賀屋 究・櫻田 誠和・嘉代 空河・今井 来紀

<経済学部商学科>

【2年次生】久保田 千尋・橋上 恵・畑山 朱子・坂入 匠・北野 哲平  
【3年次生】柳原 悠真・本間 柁之・坪内 沙耶・中川 翔太・渡辺 一稀  
【4年次生】畠山 楓・伊藤 駿・土屋 和樹・田上 妃香里・小田 結香

<経済学部現代応用経済学科>

【2年次生】内田 詩乃・植田 黎磨・秋山 絵里香  
【3年次生】尾池 一樹・南 康太・小島 優希  
【4年次生】小宮 美恵・村井 宏紀・遠藤 紗織

<法学部法律学科フレックスA>

【2年次生】富山 尚恵・池田 美咲・山田 涼輔・千葉 大樹・櫻木 隆満・上野 さつき  
【3年次生】塩沢 廣司・玉木 玖実子・松永 真生子・鈴木 朱里・小宮山 愛理・板倉 賢  
【4年次生】高嶋 里帆・廣瀬 愛実・進藤 萌々・平光 史弥・藤谷 勇人・伊勢 隆弘

<法学部法律学科フレックスB>

【2年次生】石 和彬・大塚 元夢・内藤 光佑・國松 沙樹  
【3年次生】仁藤 光一・浅岡 和也・流郷 卓司・佐々木 聖優  
【4年次生】板垣 玲祐・堀口 麻美子・丸山 拓哉・片柳 拓海

<法学部政治学科>

【2年次生】雨宮 克弥・中岡 由季・佐藤 洋亮・小野 航輝  
【3年次生】中村 茜・柴田 優斗・宮本 篤志・寒川 朋子  
【4年次生】伊藤 朝美・仲村 裕太・渋谷 明憲・當麻 沙織

<経営学部経営学科>

【2年次生】遠藤 かなえ・武井 あす香・解 静佳・廣瀬 生成・吉岡 紗季・新井 翔太・山崎 大樹  
【3年次生】椿本 宗輝・林 華鳳・平塚 すみ香・山本 愛梨咲・飯田 英稔・高野 杏莉・有賀 万海  
【4年次生】笠間 あい・若狭 和也・若月 ともみ・川原 実穂・石井 美穂・木村 詩以歩・下川 功祐

<経営学部市場戦略学科>

【2年次生】前田 千咲・稲垣 茉奈・峯岸 春菜・倉石 佑里菜  
【3年次生】木村 名・吉沼 優衣・宮川 瑞生・松濱 侑香  
【4年次生】安斎 奈々・阿部 ひな子・高田 哲司・仲橋 祐希

<医療健康科学部診療放射線技術科学科>

【2年次生】宮下 明日香・藤井 恭平  
【3年次生】安居 虹希・畠山 和志  
【4年次生】新本 悠律子・齋藤 拓也

<グローバル・メディア・スタディーズ学部グローバル・メディア学科>

【2年次生】藤本 一輝・林 里瑳・木河 美紀・小野 愛実・川崎 大輝・山城 涼  
【3年次生】小原 友佳里・内山 未理・信田 雄也・高原 柊子・前徳 南穂・増井 彩夏  
【4年次生】川崎 夏帆・徳成 有紀・田中 紋・和田 理沙・伊藤 柚実・箱井 彩佳

# スポーツフェスティバル

10月1日(日)にスポーツフェスティバルが開催されました。「地域は家族」をテーマに掲げ、近隣地域の方々とスポーツを通じた交流を行いました。スポーツ教室やスタンプラリー形式のスポーツ体験会では、スポーツの面白さや楽しさを参加した方々に伝えることができました。体育会本部としても、日頃の活動の成果を伝える良い機会になったと思います。また駒澤大学ならではの企画として、吹奏楽部のミニコンサートやマーチング演奏、参禅部による坐禅体験会、鉄道研究会による特別展示会が開催され、幅広い世代の方々が楽しめるイベントとなりました。

今後も、近隣地域の交流の場として、幅広い世代の人々が楽しめるスポーツフェスティバルを目指し、協力ができればと思います。そして、私たち自身が地域の一員であることを忘れずに、スポーツを通じた地域貢献を続けていければと考えています。



(体育会本部委員長 アメリカンフットボール部  
グローバル・メディア・スタディーズ学部  
グローバル・メディア学科4年 小峰千奈)

# オータムフェスティバル

皆さん、こんにちは。今年度も駒澤大学駒沢キャンパスにて11月4日・5日にオータムフェスティバルを開催します。テーマは「君がこなくちゃはじまらない」です。



このテーマの「君」は駒大生を意味しています。現役の駒大生はもちろん、駒澤大学を卒業された同窓生、未来の駒大生を目指す受験生など…たくさんの駒大生に来てほしい! という意味が込められています。沢山の方々に楽しんでいただけるようオータムフェスティバル実行委員では様々な企画を考えております。

沢山の「君」にお会いできることを実行委員一同、心よりお待ちしております。

## 主な企画内容

- ・ミス・ミスター駒澤コンテスト
- ・ビンゴ大会2017
- ・駒澤歌うま選手権2017
- ・坐禅・写経体験
- ・駅伝企画

## ホームページ

<https://www.autumnfes-komakoro.com/>



## Twitter

@koma\_autumnfes



(駒澤大学オータムフェスティバル2017実行委員会広報担当)

サークル訪問 150回

## スイーツ研究会

皆さんは甘党ですか、辛党ですか?今回は、今年の2月に日本テレビ「ZIP!」から取材されるなど、話題を集めている「スイーツ研究会」(以下、スイ研)をご紹介します。

歴史はまだ浅く、設立は2013年。会員数はおよそ60人。男女比は同じくらいで、様々な学部の人が集まっています。主な活動は月に2回新たなスイーツを探す活動と、年2回の合宿。昨年は千葉や日光に合宿に行ったそうです。月に2回とライトな活動なので、他のサークルや部活にも入っている会員も多いようです。

今年の4月に準公認団体から公認団体へと変わり、11月のオータムフェスティバルに屋台を出店することが決まっています。



会長の羽田拓平さん(国文3)の話では、スイーツというツールを通じて多くの人とコミュニティーを作るという目的と、初代会長のスイーツ好きが高じて設立されたそうです。

取り扱うスイーツのジャンルはケーキなどの洋菓子がメインになるものの、数回に一度はフルーツパーラ



ーやワッフルといったジャンルの店に行くことも。向かう店はその時の参加人数に応じ、専門店からコンビニまで多岐にわたります。

実はこのスイ研、今年の2月に日本テレビの朝の情報番組「ZIP!」にて紹介されています。「設立して3~4年しか経っていないのに、テレビ局に取り上げられたことで他大学のスイーツ研究会と同じように活動できているのが分かって嬉しかった」と羽田さんは振り返りました。

「気軽に入りやすく、会員の人もおとなしすぎず、騒がしすぎないところが良いところ」と紹介してくれたのは佐藤果歩さん(グローバル・メディア2)。甘党の皆さん、スイ研の活動をのぞいてみるのはいかがでしょうか。

(学生記者 駒大スポーツ所属  
法学部政治学科2年 田上佳雅)

Circle  
Report  
150

経済学部の姉齒曉ゼミが佐渡市羽茂大崎で開催された「世界一小さな花火大会」に企画参加

姉齒ゼミは、新潟県の受託研究「佐渡市羽茂大崎集落活性化事業」の一環として集落の歴史を調べ、花火大会に合わせて集落の文化と戦争の歴史を再認識してもらうことを目的に、竹灯籠の設置を提案し、実現しました。

地元小学生が描いた絵や文字を飾ったミニ竹灯籠のほか、戦没犠牲者の氏名や年齢を記した竹灯籠を展示し、その様子は佐渡テレビと新潟日報で報道されました。



経営学部が世田谷区立駒沢小学校のサマースクールに企画参加

経営学部の5つのゼミから7チーム総勢64人（青木茂樹ゼミ、小野瀬拓ゼミ、鹿嶋秀晃ゼミ、中野香織ゼミ、渡辺伊津子ゼミ）が、8月29日（火）に世田谷区立駒沢小学校サマースクールのプログラムに企画参加しました。

3回目の参加となった今回は共通テーマ「楽しさの上的学びへ」を掲げ、各チームが趣向を凝らしました。



サッカー部の高橋潤哉選手と星キョウファン選手がU-20全日本大学選抜としてミャンマー遠征に参加

高橋潤哉選手（経営2）と星キョウファン選手（法律2）が、6月28日（水）～7月2日（日）に行われた「ミャンマー遠征」にU-20全日本大学選抜として出場しました。U-22香港代表・U-22カンボジア代表・U-22ミャンマー代表と対戦し、全勝で遠征を終えました。



相撲部が「第96回東日本学生相撲選手権大会」で1部昇格

6月11日（日）に両国国技館で開催された「第96回東日本学生相撲選手権大会」団体戦において、2部（Bクラス）優勝および1部（Aクラス）ベスト8という成績を収め、来年度のAクラス昇格を果たしました。



空手道部が各種大会で活躍

◆船越義珍杯 第14回世界空手道選手権大会 8月18日（金）～20日（日）アイルランド／リムリック大学 UL スポーツアリーナ

【19～21歳の部】

男子個人形優勝 中田 匠（法律4）

【一般の部】

男子団体形優勝 梅山 竣也（商2）

女子団体形優勝 佐藤 柚奈（現代応用経済2）

男子団体組手優勝 廣瀬 光（仏教2）

女子団体組手優勝 天野 美雅（心理4）・杉本 りさ（心理2）

女子個人形準優勝 佐藤 柚奈（現代応用経済2）



# KOMAZAWA

女子個人組手準優勝 天野 美雅（心理4）

◆内閣総理大臣杯第60回全国空手道選手権 9月17日（日）千葉／幕張メッセ

【女子個人形】

準優勝 佐藤 柚奈（現代応用経済2）

【女子個人組手】

優勝 杉本 りさ（心理2）



美術部が駒沢地域の景観向上に貢献

美術部が、駒沢キャンパス地域の商店のシャッターをリフォームしました。

この活動は、駒沢町会から地域の活性化と犯罪防止のために本学に依頼があり実現したもので、美術部に対して駒沢町会から感謝状が贈られました。



その他

新潟県および札幌市と学生UIターン就職促進に関する協定を締結

7月31日（月）に札幌市と、8月2日（水）に新潟県と学生UIターン就職促進に関する協定を締結しました。これは、学生のUIターン就職を促進するため、相互に連携・協力をして取り組むことを目的としたものです。

なお本学では現在、栃木県、長野県、茨城県と既に学生UIターン就職促進に関する協定を結んでいます。

札幌市就職支援協定 調印  
新潟大学 SAPP\_R0



職員野球部が「第54回私立大学連盟教職員野球大会」で優勝

8月2日（水）～4日（金）に大宮健保グラウンドで開催された「第54回私立大学連盟教職員野球大会」で15年ぶり7回目の優勝を果たしました。なお、最優秀選手（MVP）に土屋雅飛選手が選ばれました。



## 「トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム」に中西竜也さんが選出

文部科学省が展開する留学促進キャンペーン「官民協働海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN日本代表プログラム～」の、第7期生派遣留学生(留学国:アメリカ、地域人材コース(福井県))として中西竜也さん(商4)が選出されました。



## 学生FDスタッフの委嘱が行われ 結成式を開催しました

7月12日(水)、学生FDスタッフの委嘱が行われ、結成式を開催しました。

学生目線の教育改善を目指して学生スタッフの募集を行い、今年度は11人の学生FDスタッフを委嘱し、教職員とともに、学生から見て効果的であると思われる教育方法を実践する教員を表彰する「学生が選ぶベスト・ティーチング賞」などのイベント企画、広報、運営を行います。



## オーストラリアンフットボール部"マグパイズ"の5選手が日本代表に選出され「AFL International Cup」で第4位

鳥巢悠毅選手(法律4)、清水颯月選手(GM4)、藤田純平選手(市場戦略3)、山路雄大選手(法律2)、松村大成選手(政治2)が、8月5日(土)～19日(土)にオーストラリアのメルボルンで開催された「2017 AFL International Cup」の日本代表に選出され、第4位という素晴らしい成績を取めました。



同大会は、3年に1度オーストラリアで開催されるオーストラリアンフットボールの世界一決定戦です。

## 世田谷区立喜多見小学校で「オリンピック・パラリンピック教育」として体育の授業を実施

9月13日(水)・15日(金)の2日間、総合教育研究部スポーツ・健康科学部門の柳浩二郎講師が、世田谷区立喜多見小学校で体育の授業を行い、体操競技部の選手9人も協力しました。

この取り組みは、本学の地域連携事業として喜多見小学校の「東京都オリンピック・パラリンピック教育」に協力したものです。



# NEWS+



## 卓球部が「秋季関東学生卓球リーグ戦」で優勝し1部昇格

卓球部が、9月15日(金)～17日(日)に開催された「平成29年度秋季関東学生卓球リーグ戦(2部)」において全勝優勝し、1部昇格を果たしました。また、上野亨樹選手(現代応用経済2)が「殊勲賞」、松田尚樹選手(経営4)が「特別賞」を受賞しました。



## サークルの活動予定

### 体育会

- アメリカンフットボール部
  - 2017年度秋季リーグ戦／～12月3日(日)／アミノバイタルフィールド、富士通スタジアム川崎
- サッカー部
  - 第91回関東大学サッカーリーグ戦[後期]／～11月19日(日)／味の素フィールド西が丘 他
- 少林寺拳法部
  - 第51回少林寺拳法全日本学生大会／11月26日(日)／日本武道館
- バスケットボール部
  - 第93回関東大学バスケットボールリーグ戦／～10月29日(日)／駒沢体育館 横須賀アリーナ 他
- ボクシング部
  - 第87回全日本ボクシング選手権大会／11月22日(水)～26日(日)／福井県産業会館
- 陸上競技部
  - 秩父宮賜杯第49回全日本大学駅伝対校選手

## 駒大生の輝く姿をぜひご覧ください

- 権大会／11月5日(日)／熱田神宮西門前～伊勢神宮内宮宇治橋前
- 第94回箱根駅伝(東京箱根間往復大学駅伝競走)／1月2日(火)・3日(水)／1月2日(往路): 大手町 読売新聞社前～箱根町 芦ノ湖 1月3日(復路): 箱根町 芦ノ湖～大手町 読売新聞社前
- 男子バレーボール部
  - 2017年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦／～10月28日(土)／船橋アリーナ、キッコーマンアリーナ 他
- 応援指導部ブルーベガサス
  - 第十三回天馬祭／12月(予定)／記念講堂
- 文化部
  - 合唱団
    - 第55回定期演奏会／12月26日(火)／めぐろパースimonホール

### ●ギタークラブ

- ウインターコンサート／12月24日(日)／記念講堂
- ギターマンドリン倶楽部
  - 第47回定期演奏会／11月25日(土)／川口総合文化センター リリア音楽ホール
- 吹奏楽部
  - 龍谷大学×駒澤大学 ジョイントコンサート2017／11月3日(金・祝)／龍谷大学 響都ホール校友会館
  - 第53回定期演奏会／12月17日(日)／記念講堂
- 任意団体
  - 管弦楽団
    - 第40回記念定期演奏会／10月28日(土)／川崎市教育文化会館

# 「一度きりの人生、本当にやりたいことに向かって、チャレンジし続けていきたい」



1985年埼玉県生まれ。文学部歴史学科日本史学専攻卒業。関東大学サッカーリーグ戦ではアシスト王、ベストイレブンに選出される。2008年Jリーグ・大宮アルディージャへ入団。2010年、右大腿骨に骨肉腫判明。手術後リハビリを継続しながら、現在は大宮アルディージャのクラブアンバサダーとして活動中。

現役復帰を目指して、現在、大宮アルディージャのクラブアンバサダーとして様々な活動をしている塚本さんに、大学時代の思い出や今後の目標についてお話を伺いました。

\* \* \* \* \*

---どんな学生時代でしたか？

サッカー漬けでしたね。駒大サッカー部では良い先輩や仲間恵まれて、全国制覇など良い経験をさせていただきました。その先輩や仲間がプロに行ったり、クラブからオファーをもらっているのを見て、自分もプロになりたいと強く思うようになりましたね。

学業の方は、松本信道先生（※1）のゼミに所属していたのですが、先生がサッカーと学業の両立に理解のある方で。僕がプロになってからも、当時のゼミの仲間と一緒に試合を見に来てくれたりしました。今でも先生とはたまに連絡を取ってるんですよ。

3歳上の兄の影響で幼稚園からサッカーを始めましたが、本当に駒大に行って良かったと思います。大学で秋田浩一監督（※2）の指導を受け、監督がずっ



大学3年時に「第65回全日本大学サッカー選手権大会」優勝（3連覇）に貢献

と起用してくださったからこそプロになれた。サッカーのスキルだけではなく人間的にも成長できたので、大学時代は僕の人生の中で大きなものを占めている時期です。

---プロの世界で学んだことは？

大学の新卒は即戦力扱いなんです。大宮入団後の背番号は「2」。チームからの期待を受けて、早く試合に出て結果を残さないといけない状況でした。でもなかなか監督の期待に応えることができず、試合に出られない日々が続きました。2年目になって、同じポジションの選手が怪我をして。その時、回ってきた出番を上手くものにできて、レギュラーとして出場できるようになりました。いつ巡ってくるか分からないチャンスを活かすには、日頃からの準備が大切だなと感じましたね。

---まさに、これからという時にご病気が分かって…。そこから、どのように気持ちを立て直すことができましたか？

右ひざの痛みは2年目の夏ぐらいからあったのですが、休めばプレーができる状態でした。それが強い痛みになってきて、3年目のシーズン前に検査で骨肉腫と分かりました。それを聞いた時は本当に頭が真っ白になりました。家族に泣きながら「生きていてもいい」と言われて、手術を受ける決心をしました。医者には「選手としてサッカーを続けることはできない」と言われたけど、きっとこの病気になってもサッカーをやろうとした人がいないだけで、やってみないと分からないという気持ちがありました。だったら「僕が第一人者になってやろう」、「もう一度ピッチに立ちたい」と。そういう目標があったからこそ、厳しいリハビリにも耐えることができたのだと思います。また、病気を公表した後、沢山の方から激励の言葉をいただきました。いまだにスタジアムに僕のユニフォームを着て来てくれる方がいたり。そういった皆さんからの思いが、今の

自分の原動力になっています。

---現在の活動とこれからの目標をお聞かせください。

現在はクラブアンバサダー、いわゆる親善大使として、様々なイベントやサッカー教室などに参加しています。

個人的には、夢に近づくために、毎年チャレンジを続けていますが、来年はアルディージャが20周年を迎えるので、その時にOB戦をやろうという話があって。その時にピッチに立ちたいと考えているので、今年は大きなチャレンジではなく、来年に向けて、今は例年以上にトレーニングに励んでいます。病気をしてリハビリを始めてから、当たり前の毎日がいかに幸せかということに気づかされました。辛いことや苦しいこともあるけれど、元気に生きているからこそ感じられること。僕が一步一步、頑張る姿を示すことで、同じ病気の人たちに少しでも勇気を与えられたらいいなと思っています。

---現役学生にメッセージを。

僕は親から、「何か夢中になるものを見つけて、それに向かって頑張らなさい」と言われてきました。僕の場合はそれがサッカーで、ずっと頑張ってきました。同じように皆さんも、誰かに言われたからやるのではなく、自分の本当にやりたいことを見つけて、自分の意思で行動してもらいたいと思います。若いので何度でもやり直しはきくし、一度きりの人生ですから。仲間を大切にしながら、自分の道を見つけて歩んでもらいたいですね。

大宮アルディージャ



クラブ公式サイト

<https://www.ardija.co.jp/>

公式Twitter

[https://twitter.com/Ardija\\_Official/](https://twitter.com/Ardija_Official/)

公式Facebook

<https://www.facebook.com/ardija.official/>

公式Instagram

<https://www.instagram.com/omiya.ardija/>

※1 文学部歴史学科准教授。専門は、日本古代史。

※2 サッカー部監督、総合教育研究部スポーツ・健康科学部門教授。専門は、コーチング論。